

令和5年度 学校評価報告

愛知産業大学三河高等学校

日時：令和6年6月8日(土) 11:00~12:15

場所：愛知産業大学三河高等学校 会議室①

参加者

〔学校関係者評価委員〕

後援会会長	岡本 雄一氏
同窓会会長	神尾 篤信氏
保護者会会長	花田 正子氏
岡町相談役	原田 勝可氏
西尾自動車学校校長	中田 賢浩氏

〔学校〕

全日制課程教頭	黒柳 洋一	(委員会進行)
通信制課程単位制教頭	丸山 浩孝	
全日制課程総務科長	玉腰 憲樹	

【全日制課程】

1 教学方針に対する意見

委員：ICTの整備の充実について以前に比べて充実してきたようだ。

学校：文部科学省から指導があり、一昨年より普通科の1年生から各自iPadを持つようになっている。令和5年度より1年生の普通科・電気科はiPad、情報処理科はSurfaceを全員持っている。しかし、校内のWi-Fi情報許容量が十分でなく、令和6年度中に情報許容量を増強する。令和7年度には全学年でタブレットを活用するようになるので機種については再度見直す可能性がある。欠席連絡、成績提示などについては、教務支援システム「BLEND」を活用し情報共有を行っている。また、学校からの保護者への連絡も「BLEND」を利用して実施している。

委員：「誓いの言葉」は毎朝生徒が唱和しているのか。

学校：コロナ禍で一時中止していた期間はあったが、現在は再開し、毎朝STにて各クラスで実践している。以前は大きな声で校舎内に響き渡っていたが、現在は感染予防を考慮しながら行っている。

委員：在籍中の様子とはかなり変わってきているが、基本的な建学の精神は変わっていないので、その点は継続してもらいたい。

委員：電気を勉強しながら、情報の分野も身につけたいので、余裕のある子どもたちには科の枠を超えた教育を受けさせたい。

学校：商業部という部活もあるので、そこで情報分野の習得も可能であり、授業後の補習であれば参加は可能である。また、授業についてはカリキュラム上不可能であるが、過去には電気科の生徒が情報処理の国家試験に合格したこともあった。

委員：今年度から電気科も女子入学が可能となっているが、もっとアピールするとよい。

学校：令和7年度の募集には強化していきたい。令和7年度用の学校案内の電気科ページには女子生徒の実習中の写真を入れた。

委員：Instagramにてアピールポイント記事を固定するとよい。

学校：担当部署とも確認をして、積極的に取り組んでいきたい。

現在) Instagram や Facebook への書き込みに取り組んでいる

2 教務に関する自己評価への評価・意見

委員：ICT教育タブレットの活用法として、生徒は自宅へ持ち帰りはできるのか。

学校：各科とも学校で指定した端末の購入をするため、個人所有物として自由に持ち帰ることができる。充電は基本的に各家庭で行うようにしている。

委員：情報処理科がSurfaceなのはソフトの関係からか？

学校：情報処理科はキーボードを使用することをメインとするとともに、学校で使用しているデスクトップPCのMicrosoftアプリケーション利用のため、現在はそれらを学習できるSurfaceにしている。

3 指導に関する自己評価への評価・意見

学校：以前は生徒指導を一番に考えた教育であったが、時代とともに校則の基準を見直す必要があり、令和5年度より校則変更を努めている。

現在) 生徒の意見を取り入れ可能などより変更をしている

委員：地域交流活動部が地元の敬老会やお祭りなどにも参加し、協力してくれて助かっている。今後是非参加して欲しい。

学校：現在本校で個人的にジャグリングをやっている生徒もおり、本人も自分の技を披露する場を必要としているので、地域活動交流部を通じて、そのような場で披露させてもらえるとたいへん励みになる。

委員：就職時に基本メイクは必要となってきたが、女子生徒のメイクはどの程度の指導をしているのか。

学校：学校生活において基本化粧は禁止である。3年生の卒業前に講習会として実施することも必要な時代ではあるかもしれないので、今後検討事項とする。

現在) 3年生を対象に、卒業前の時期にメイクに特化せず「身だしなみ」という観点より、外部企業へ実施にあたり相談をしている

4 進学指導に関する自己評価への評価・意見

委員の方からの評価・意見なし

5 総務に関する自己評価への評価・意見

委員：防災関係において、岡町の住居地域は平地が多いが、原山のキャンパス内は隆起箇所が多く、土砂崩れの危険地域が多数あるので、常に対策を心がけて欲しい。

学校：岡崎市から出ているハザードマップで危険地域を確認し、徐々に整備できるよう心掛けているが、広大な敷地なので緊急を要する所からとなる。

現在) 岡崎市ハザードマップの通学路における土砂災害警戒(特別警戒)区域の目視による確認を心掛けるとともに、学校移転も含め検討中

6 渉外に関する自己評価への評価・意見

委員：三河高校はグーグルのロコミが2.5と評価が低いので、学校としてその評価を知っているのか。また評価を上げるような対策を取っているのか。

学校：以前より本校のイメージがよくない点を多く指摘されているため、令和5年度より「三河変わった」のキャッチフレーズを基に若手の教員を中心に学校の改革や募集活動を見直しているところである。

委員：ロコミに対して対策コメントを入れるようにして行くのも対策の一つである。

学校：対策アドバイスをありがとうございます。

現在) ロコミに対して可能なことから改善に取り組むよう検討中

7 学年に関する自己評価への評価・意見

委員：姉妹校の愛産大への進学率が低いが、県立工科高校との連携も行われているようなので、姉妹校としても連携を取って進学率を高めるとよい。

学校：以前より大学側にて高大連携講座を開講していただき、愛産大へ進学率向上に努めている。また他の姉妹校へのオープンキャンパス参加を呼びかけ、内部進学率向上に取り組んでいる。

8 事務に関する自己評価への評価・意見

委員の方からの評価・意見なし

学校：令和5年度にはトイレの改修工事(和式→洋式ウォシュレット化)を主な事業として実施した。令和6年6月より体育館の空調設備の工事に入り、7月より冷暖房完備となる。

また、プール棟の全灯LED化、校内全トイレの洋式化を予定している。

ペコフリーにより8:40までにLINEにて注文可能となり、岡崎市内のグランクレールによるパン販売(月・水・金)実施、キッチンカーの導入(試験最終日、終業式等)にも取り組んでいる。

9 その他(全般)意見

委員：総合的に見て、私たちが在学していたころに比べれば、現在は非常に好待遇でうらやましく思う。今後も生徒たちのために協力できることは積極的に行っていききたい。

【通信制課程単位制】

委員：県内 8 校の専門学校と技能連携をしている。単位制ができた当初は問題行動のある生徒が非常に多かったが、現在はカリキュラムの見直しなどをして、落ち着いた生徒が増えてきている。

委員：心身の問題がある生徒への対応はどうしているのか。

学校：心身に問題のある生徒は非常に多く、カウンセリングなどの必要もあり、全日制のカウンセリングシステムを活用させてもらっている。女子教員も増え、女子生徒にも寄り添った対応をしている。

生活指導については、単位制であっても学校からの推薦を必要とする進学、就職の場合は、茶髪・ピアス等は禁止としている。

委員：不登校であった生徒が、持っている潜在能力は高いものがあるので、彼らの能力を発揮させる上で、単位制の存在も必要である。

学校：各中学校からも需要が増え、説明会などを実施する機会も増えている。広域通信制学校のように宣伝できないが、地域を大切に、地元中学校を中心に地道に紹介している。

委員：大学へ進学する生徒もいるか。

学校：全日制同様、共通テストを受験する生徒もいる。

最近は他の私立高校も単位制高校の併設を考えていると聞いているので、今後生徒確保が困難になると予想される。

学校：本日皆様に出していただいた意見を基に、各問題点について改革、改善していけるよう今後も努めていきたい。

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。